

3歳児 4月頃

タイトル 「新学期」

【子どもの姿】

好きな遊びの時間（保育室内に4つの遊びを設定する）

- ① お絵描きや塗り絵 ②ブロック ③乗り物 ④ままごと
  - ・進級児や新入園児がおり、新しい環境で不安な気持ちの子どもが多い。
  - ・知っている遊びを保育者と一緒にすることで安心し、保育者の存在を近くに感じながら遊ぶことで安心している。
  - ・好きな遊びが見つけられず室内を走り回って、友だちがつくったブロックや、積み木を倒している。
  - ・椅子の上に立ってジャンプし、何度も繰り返している。

【保育者の援助や環境構成】

- ・初めての環境で不安感を持っている子どもが多いので、子どもたちが知っている遊びや見ただけで遊び方が理解できる遊びを準備する。
- ・ブロックや積み木などを倒したり、壊したりすることを楽しめるコーナーを別に設定する。
- ・マットを敷いてウレタン積み木などを準備し、ジャンプをしたり、体操やリズムなど体を動かしたりする場を設定する。

【振り返り】

- ・子ども自らが、やりたい遊びを選べるように環境を準備したことで、好きな遊びが見つかり、安心して遊ぶ姿が見られている。
- ・今日の子どもの姿から明日の保育室の環境を整え、再構成している。時期と子どもの姿に合わせた環境構成をする。
- ・クラス内でも発達に差があることや、子ども一人ひとりの姿を受け止め気持ちに寄り添ったことで、少しずつ落ち着きが見られてきている。
- ・子どもが楽しんでいることを保育者も一緒にやってみることで、子どもが何を楽しんでいるのかを知ることができ子ども理解につながった。

5歳児 2月頃

タイトル「お面をつくろう」

【子どもの姿】

・今週中に「鬼のお面をつくる」ことだけが決まっており、つくる時間は好きな遊びの時間や給食を食べた後など、自分のつくりたい時間やタイミングに自由に取り組む。

・制作が好きな子どもは、鬼の髪の毛を毛糸で見立てて貼ったり花紙を丸めて貼ったりと自分で考えてつくっている。角が1本の鬼もいれば角をたくさんつけることを楽しんでいて角だらけの鬼もいる。

・制作が好きでないA児は、他の遊びを楽しんでいるが、自分でつくったお面をつけて遊んでいるB児を見て興味をもっている。「一緒につくる?」と話しかけてくれたB児に手伝ってもらいながらお面をつくり、A児も自分だけのお面を楽しそうに身につけてB児と一緒に遊ぶ。お面をつけて遊ぶ姿を保育者に笑顔で見せたり、送迎時には保護者に見せたりしていた。

【保育者の援助や環境構成】

- ・子どもが自分で選んで好きな時間に作れるように、様々な素材や道具を手の届く場所に用意する。
- ・一人ひとりの子どもの姿や発達を考え、簡単に作れるように顔のパツも用意する。
- ・子ども同士のかかわりを大切にし、見守りながら必要に応じて援助する。

【振り返り】

- ・色々な子どもの姿や様子に合わせた素材が準備されていることで、自分で考えて作り自分の思いが形になる喜びを感じていた。
- ・自分だけのお面をつくり保育者や友だち、保護者に認められることで、達成感をもつことができた。
- ・友だちに手伝ってもらう経験やかかわりの中で、互いの個性を認め合えるきっかけになった。作るだけで終わらず身につけて遊んだりすることで、A児の作品を見て「やってみたい」と思う気持ちが芽生えた。
- ・制作期間を今週中と設定したことで、個々の姿や思いに寄り添うことができた。